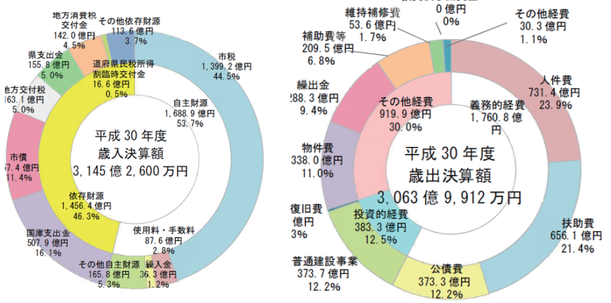
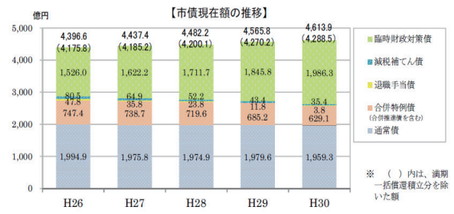
静岡市　平成３０年度決算の概要

平成30 年度一般会計の決算額は、
歳入総額が 3,145 億2,600 万円（前年度比0.6%減）
歳出総額が 3,063 億9,912 万円（同1.0%減）となりました。



市債残高の推移

全会計における平成30 年度末の市債現在高は、6,690 億8,140 万円前年度に比べ、25 億2,708 万円（0.4%）増加しました。
市民一人あたりに換算すると、約95 万6 千円、前年度に比べ約1 万円増加しました。



平成３１年度　９月議会補正予算

海洋文化の拠点づくり 26,399,000 千円（債務負担行為）

「国際海洋文化都市・清水」の実現に向け、世界に存在感を示す都心づくりを進めるため、中核となる（仮称）海洋・地球総合ミュージアムを清水港日の出エリアに建設。
　債務負担行為は施設の建設及び維持管理・運営費に対し令和２年度～令和１９年度にかけ約１７０億円を負担する。

日の出地区 開発イメージ
0　50　100　200m
N
静岡市役所
清水マリンビル
日の出埠頭
日の出緑地
日の出ふ頭
日の出緑地
日の出ふ頭
清水マリンビル
静岡市役所
清水庁舎
清水庁舎
清水港日の出地区
都市計画決定区域
清水港日の出地区
都市計画決定区域
清水港日の出地区
都市計画決定区域

市政運営の問題点

清水庁舎の移転、そして桜ヶ丘病院については、危機管理や住民自治、財政、地域活性化など、静岡市政に関わる、市政運営の在り方が問われています。清水区民への影響が最も大きい案件ですが、清水区での危機管理耐性が脆弱であれば、医療や災害復旧などの皺寄せは他区に集中することになります。財政状況が厳しいなかで、清水区に過剰な投資が集中すれば、静岡市全体の福祉や教育などの整備が遅れることになります。だからこそ、静岡市民全体の意向把握がとても重要になってきます。そこで、今回は清水庁舎、桜ヶ丘病院の移転についてスポットを当ててみました。

Q なぜ、築 36 年の清水庁舎を壊して移転新築？

A 清水庁舎は築 36 年になり、市側は「建築設備などに経年劣化が生じ、最大クラス地震や津波で業務の継続が難しくなる」と、移転の正当性を列挙します。しかし、今回の移転新築は、桜ヶ丘病院の移転が前提にあったことは間違いありません。桜ヶ丘病院を現庁舎の場所に誘致することを決断したことで、清水庁舎を今後どうするかの選択肢、すなわち、改修か、現地建替えか、移転建替えかの思考回路が遮断され、清水庁舎を移転することが絶対条件となりました。

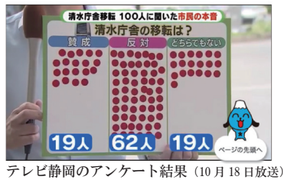
Q 清水庁舎の移転で清水区の経済は活性化する？

A 市側は清水区発展の起爆剤としていますが、移転先の JR 清水駅東口公園は、本市の東の玄関口として大規模な商業施設などを誘致するため土地区画整理事業を実施した用地でした。そこに、区民しか使わない庁舎を建てることは、活性化の足かせになるのは明らかです。市長が実現に向け意気込みを明らかにしたサッカー場の建設計画を中心にエリア全体の活用を再検討すべきです。

新清水庁舎完成イメージ図

Q 清水庁舎の移転に対し、市民はどのような反応？

A 静岡朝日テレビが行った電話調査では移転建替えに「反対」が 56.5%「賛成」22.7%にとどまりました。さらに、テレビ静岡が 100 人に対し街頭で行った調査では移転について「反対」が 62 人、「賛成」が 19 人、どちらでもないが「19 人」という結果でした。市民の賛同を得ているとは言い難い状況です。



テレビ静岡のアンケート結果（10 月 18 日放送）

Q 厚労省が再編統合を促した病院リストに桜ヶ丘病院が入っていましたが、影響をどう考える？

A 運営母体の JCHO は静岡新聞社の取材に対し「関係機関との調整作業の中で、当病院として担える地域貢献の在り方を考えていきたい」とコメントしていますが、医師数の減少が顕著で規模の縮小は避けられません。加えて、津波浸水想定区域での新病院の建設は想定区域では必要ない多額の建設、整備コストが必要になります。市は、方針通り現庁舎の場所に移転するとしていますが、雲行きは怪しくなってきました。となれば、庁舎移転について今一度慎重に考えるべきです。

現在の桜ヶ丘病院

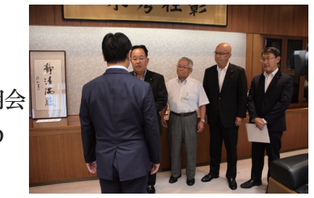
Q 清水庁舎の建設をはじめ、海洋拠点施設、歴史博物館、静岡市民文化会館の建設など、大型のハコモノ建設が目立ちますが、財政的には大丈夫？

A 人口減少が進む中で、少子高齢化対策、老朽化した施設や橋梁の改修費用など、避けられない支出は今後一層高まっていきます。積極財政を背景に、19 年度予算案は過去最大になりました。田辺市長は健全な財政状態を維持していると強調しますが、50 億円の財源不足は基金の取り崩しで穴埋めし、18 年度の一般会計市債残高は約 4613 億円、前年比約 48 億円（1.1%）増加しました。税金の使い道については、さらに厳しい目でチェックしていく必要があります。

清水庁舎移転新築に関して創生静岡の動き

市長への提案

９月１０日、市長へ説明会の開催と庁舎移転議案の取り下げを提言！



住民投票条例の提出

９月１８日、市民の意向把握のため、「住民投票条例案」を議長へ提出

条例提出後の記者会見

議員発議の住民投票条例にはマスコミの強い関心が集まった

一般質問

津波浸水想定区域への移転計画を厳しく追及する風間議員

動議の申し入れ

庁舎問題に対し曖昧な答弁をする市長へ、議長より注意を促す安竹議員

住民投票条例趣旨説明

住民投票条例を提案。市民の賛否を問う必要を訴える石井議員

総務委員会

住民投票条例と庁舎移転建設関連議案を厳しく審議する風間議員

総務委員会質疑

住民投票条例について他会派議員からの質問に答弁する石井議員

反対討論

東日本大震災の教訓を活かし庁舎移転の再検討を求める安竹議員

賛成討論

「庁舎建設はまちづくり」市民合意を求め住民投票の必要性を訴える白鳥議員

住民投票条例に賛成する創生静岡議員団

創　生　静　岡	賛成
共産党静岡市議団	
緑の党・グリーンズジャパン	

自民党静岡市議団	反対
志　政　会	
公明党静岡市議団	